宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書　第173集

# 宮ノ東遺跡（みやのひがし）

Miyanohigashi Site

東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 60

－図版編－

2008

宮崎県埋蔵文化財センター

# 図版編　目次


図版　1　今も昔も交通の結節点
図版　2　遺跡一帯は“第２の港”
図版　3　西方上空より遺跡を望む
　　遺跡上空より西都原を望む
図版　4　発掘調査風景
図版　5　旧石器時代の調査(1)A区北半
図版　6　旧石器時代の調査(2)A区・B1区・B2区
図版　7　縄文時代・弥生時代の調査　A区・B1区・B2区
図版　8　古墳時代の調査(1)A区南半
図版　9　古墳時代の調査(2)B1区・B2区
図版　10　古墳時代の調査(3)A区南半
図版　11　古墳時代の調査(4)A区南半・B2区
図版　12　古墳時代の調査(5)B1区
図版　13　古墳時代の調査(6)B1区
図版　14　古墳時代の調査(7)B1区・B2区
図版　15　古墳時代の調査(8)B1区
図版　16　古墳時代の調査(9)B1区
図版　17　古代の調査(1)A区北半・B1区
図版　18　古代の調査(2)A区南半・B1区
図版　19　古代の調査(3)B1区
図版　20　古代の調査(4)B1区
図版　21　古代の調査(5)B1区
図版　22　古代の調査(6)B1区
図版　23　古代の調査(7)B1区
図版　24　古代の調査(8)B1区
図版　25　古代の調査(9)A区南半・B1区
図版　26　古代の調査(10)B1区
図版　27　古代の調査(11)B1区
図版　28　古代の調査(12)　・中世の調査(1)B1区
図版　29　中世の調査(2)A区南半
図版　30　近世の調査　A区
図版　31　近現代の調査(1)B2区
図版　32　近現代の調査(2)B2区
図版　33　近現代の調査(3)A区北半・B1区
図版　34　段切り面の調査(1)B1区北半
図版　35　段切り面の調査(2)B1区北半
図版　36　段切り面の調査(3)B1区北半
図版　37　段切り面の調査(4)B1区北半
図版　38　段切り面の調査(5)B1区北半
図版　39　溝状遺構・道路状遺構の調査(1)B1区北半
図版　40　溝状遺構・道路状遺構の調査(2)B1区北半
図版　41　溝状遺構・道路状遺構の調査(3)B1区北半
図版　42　中近世の溝状遺構群　B1区北半
図版　43　C区の調査(1)
図版　44　C区の調査(2)
図版　45　C区の調査(3)
図版　46　C区の調査(4)
図版　47　確認調査
図版　48　調査区周辺の状況
図版　49　昭和40年代の岡富村
図版　50　旧石器(1)
図版　51　旧石器(2)
図版　52　旧石器(3)
図版　53　旧石器(4)
図版　54　縄文土器(1)
図版　55　縄文土器(2)
図版　56　縄文土器(3)
図版　57　縄文土器(4)
図版　58　縄文石器(1)
図版　59　縄文石器(2)
図版　60　縄文石器(3)
図版　61　縄文石器(4)
図版　62　縄文石器(5)
図版　63　縄文石器(6)
図版　64　縄文石器(7)
図版　65　縄文石器(8)
図版　66　縄文石器(9)
図版　67　縄文石器(10)
図版　68　縄文石器(11)
図版　69　縄文石器(12)
図版　70　弥生土器(1)
図版　71　弥生土器(2)
図版　72　弥生土器(3)
図版　73　弥生土器(4)
図版　74　弥生土器(5)
図版　75　弥生土器(6)
図版　76　弥生土器(7)
図版　77　弥生石器(1)No.付
図版　78　弥生石器(2)No.付
図版　79　弥生石器(3)No.付
図版　80　弥生石器(4)No.付
図版　81　弥生石器(5)・金属器
図版　82　古墳土器(1)
図版　83　古墳土器(2)
図版　84　古墳土器(3)
図版　85　古墳土器(4)
図版　86　古墳土器(5)
図版　87　古墳土器(6)
図版　88　古墳土器(7)
図版　89　古墳土器(8)
図版　90　古墳土器(9)
図版　91　古墳土器(10)
図版　92　古墳土器(11)
図版　93　古墳土器(12)
図版　94　古墳土器(13)
図版　95　古墳土器(14)
図版　96　古墳土器(15)
図版　97　古墳土器(16)
図版　98　古墳土器(17)
図版　99　古墳土器(18)
図版　100　古墳土器(19)
図版　101　古墳土器(20)
図版　102　古墳土器(21)
図版　103　古墳土器(22)
図版　104　古墳土器(23)
図版　105　古墳土器(24)
図版　106　古墳土器(25)
図版　107　古墳土器(26)
図版　108　古墳土器(27)
図版　109　古墳土器(28)
図版　110　古墳土器(29)
図版　111　古墳土器(30)
図版　112　古墳土器(31)
図版　113　古墳土器(32)
図版　114　古墳土器(33)
図版　115　古墳土器(34)
図版　116　古墳土器(35)
図版　117　古墳石器(1)No.付
図版　118　古墳石器(2)No.付
図版　119　古墳石器(3)No.付
図版　120　古墳石器(4)No.付
図版　121　古墳石器(5)No.付
図版　122　古墳石器(6)No.付
図版　123　古墳石器(7)No.付
図版　124　古墳石器(8)No.付
図版　125　古墳石器(9)No.付
図版　126　古墳石器(10)No.付
図版　127　古墳石器(11)No.付
図版　128　古墳石器(12)No.付
図版　129　古墳石器(13)No.付
図版　130　古墳石器(14)No.付
図版　131　古墳石器(15)No.付
図版　132　古墳石器(16)No.付
図版　133　古墳石器(17)No.付
図版　134　古墳石器(18)No.付
図版　135　古墳石器(19)No.付
図版　136　古墳石器(20)No.付
図版　137　古墳石器(21)No.付
図版　138　古墳石器(22)No.付
図版　139　古墳石器(23)No.付
図版　140　古墳石器(24)
図版　141　古墳金属器
図版　142　古代土器(1)
図版　143　古代土器(2)
図版　144　古代土器(3)
図版　145　古代土器(4)
図版　146　古代土器(5)
図版　147　古代土器(6)
図版　148　古代土器(7)
図版　149　古代土器(8)
図版　150　古代土器(9)
図版　151　古代土器(10)
図版　152　古代土器(11)
図版　153　古代土器(12)
図版　154　古代石器(1)No.付
図版　155　古代石器(2)No.付
図版　156　古代石器(3)No.付
図版　157　古代石器(4)No.付・金属器
図版　158　中世土器・陶磁器(1)
図版　159　中世土器・陶磁器(2)
図版　160　中世土器・陶磁器(3)
図版　161　中世石器・金属器
図版　162　近世土器・陶磁器(1)
図版　163　近世土器・陶磁器(2)
図版　164　近世土器・陶磁器(3)
図版　165　近世土器・陶磁器(4)
図版　166　近世土器・陶磁器(5)
図版　167　近世石器(1)
図版　168　近世石器(2)
図版　169　近世石器(3)
図版　170　近世金属器(1)
図版　171　近世金属器(2)
図版　172　近現代土器・陶磁器(1)
図版　173　近現代土器・陶磁器(2)
図版　174　近現代土器・陶磁器(3)
図版　175　近現代土器・陶磁器(4)
図版　176　近現代土器・陶磁器(5)
図版　177　近現代土器・陶磁器(6)
図版　178　近現代石器
図版　179　近現代金属器(1)
図版　180　近現代金属器(2)
図版　181　近現代金属器(3)
図版　182　近現代ガラス製品(1)
図版　183　近現代ガラス製品(2)
図版　184　その他の遺物(1)
図版　185　その他の遺物(2)
図版　186　その他の遺物(3)
図版　187　その他の遺物(4)
図版　188　B1区北半中世土器・陶磁器(1)
図版　189　B1区北半中世土器・陶磁器(2)
図版　190　B1区北半中世土器・陶磁器(3)
図版　191　B1区北半中世土器・陶磁器(4)
図版　192　B1区北半中世土器・陶磁器(5)
図版　193　B1区北半中世土器・陶磁器(6)
図版　194　B1区北半近世土器・陶磁器(1)
図版　195　B1区北半近世土器・陶磁器(2)
図版　196　B1区北半中近世石器(1)
図版　197　B1区北半中近世石器(2)
図版　198　B1区北半五輪塔(1)
図版　199　B1区北半五輪塔(2)
図版　200　B1区北半五輪塔(3)
図版　201　B1区北半五輪塔(4)
図版　202　B1区北半銭貨
図版　203　B1区北半金属製品/C区土器・銭貨
図版　204　炭化種実(1)
図版　205　炭化種実(2)
図版　206　炭化種実(3)・炭化材(1)
図版　207　炭化材(2)・自然遺物(1)
図版　208　自然遺物(2)

空中写真に関しては、有限会社ふじたに委託し、ラジコンヘリによる撮影を行った。カラーは6×6・35mmフィルム、白黒は6×6フィルムでの撮影を行った

遺構写真に関しては、カラー・白黒ともに、6×6・6×7・35mmフィルムによる撮影を行った。デジタルカメラでは約200～300万画素相当での撮影を行った。

遺物写真に関しては、奈良文化財研究所牛嶋茂氏の指導助言により、竹田・今塩屋が撮影した。掲載写真のうち、6ッ切サイズについては4×5フィルム、キャビネサイズ以下については500万画素相当のデジタルカメラで撮影を行った。

撮影に使用した機材等は以下のとおりである。

遺構写真

カメラ　:ゼンザブロニカSQ-Ai(6×6)
　　ペンタックス67Ⅱ(6×7)
　　ニコンF100(35mm)
　　コニカ現場監督ズーム(35mm)
　　ソニーサイバーショットDSC-S75(デジタル)

レンズ　:ゼンザブロニカZENZANON-PS50mm1:3.5(6×6)
　　ゼンザブロニカZENZANON-PS180mm1:4.5(6×6)
　　ペンタックスSMC PENTAX 67 75mm1:4.5(6×7)
　　ニコンAF NIKKOR28-105mm1:3.5-4.5D(35mm)

フィルム:富士フイルムプロビア100F(カラーリバーサル)
　　富士フイルムネオパン100アクロス(白黒ネガ)
　　コダックT-MAX100(白黒ネガ)
　　富士フイルムSUPERIA100(カラーネガ)

遺物写真

カメラ　:トヨビューTV45GX(4×5)
　　コニカミノルタディマージュA1(デジタル)

レンズ　:NIKKOR-AM*ED210mm1:5.6(4×5)

ストロボ:コメットジェネレーターCB-2400Ⅲ(4×5、デジタル共通)
　　コメットストロボCLX25min(4×5、デジタル共通)

フィルム:富士フイルムプロビア100F(カラーリバーサル)

デジタル:2560×1920pixel、CD-Rで収蔵

## 今も昔も交通の結節点

市房山に端を発する一ツ瀬川。悠久の川の流れは、西都市街や田園広がる沖積平野を形作ってきた。そこは、米良街道やそれを辿った国道219号線、宮崎～西都間をつないだ鉄道妻線が走り、今、高速道路建設も進みつつある。遺跡一帯は、今も昔も交通の結節点なのである。（写真下中央から妻線跡・右下から国道219号線・中央は高速道路西都I.C）

図版　2

## 遺跡一帯は“第２の港”

宮ノ東遺跡一帯は“第２の港”である。

宮ノ東遺跡を語る上で、一ツ瀬川の存在抜きには進めない。舟は河口港から遡行して、本遺跡付近を終着点とした。遺跡から見て対岸の「船倉」「四日市」といった字名はその名残であろう。宮ノ東遺跡一帯は古くから社会・文化の中心であった（遺跡は写真中央の赤屋根奥の台地端）。

**西方上空より遺跡を望む**

写真中央スギ林が宮ノ東遺跡で、眼下の水田の合間を縫って藤山川が流れる。対岸左手のスギ林は有峯城跡で、両者ともに昭和40年代までは集落であった。移転から30年、茂るスギ木立は集落の記憶をうすめつつある。

写真奥は新田原台地と日向灘。

**遺跡上空より西都原を望む**

古代、白く輝く丘であったに違いないC区。何を意図して整地された丘だったのだろうか。

写真奥右はC区から望むことのできた西都原台地。

**発掘調査風景**

宮ノ東遺跡の発掘調査は、遺跡のほんの一部を切り取ったに過ぎない。現代に至るまで連綿と続く人の営みは、結果として超高密度の遺構調査の日々をもたらした。写真は調査後半、2005年晩秋のもので、西都I.Cから続く高速道路建設が目前に迫っている。

1　礫群(SI1)検出状況①(北から)

2　礫群(SI1)検出状況②(西から)

## 旧石器時代の調査(1)A区北半

図版　6

1　静水環境下で堆積した様相を見せるAT(B1区・A-A'ライン)

2　礫群(SI4)検出状況(B2区・西から)

3　高速道路建設中のA区東壁(調査区を横断する里道から南を望む)

4　高速道路建設中のA～B1区東壁(調査区を横断する里道から東を望む)

5　高速道路建設中のB2区北壁(調査区を横断する里道から北を望む)

旧石器時代の調査(2)A区・B1区・B2区

1　縄文時代陥し穴状遺構(S1135)(B2区・南から)

2　縄文時代陥し穴状遺構(S1135)の断面（B2区・南から）

3　縄文時代陥し穴状遺構(S2330)(B1区・北から)

4　弥生時代竪穴住居跡(S6851)完掘(A区北半・東から)

5　弥生時代竪穴住居跡(S3713)遺物出土状況（A区南半）

6　弥生時代竪穴住居跡(S4711)遺物出土状況(A区南半)

**縄文時代・弥生時代の調査　A区・B1区・B2区**

図版　8

1　重なり合う竪穴住居跡群(S762周辺)(東から)

2　重なり合う竪穴住居跡群(S3713周辺)(南から)

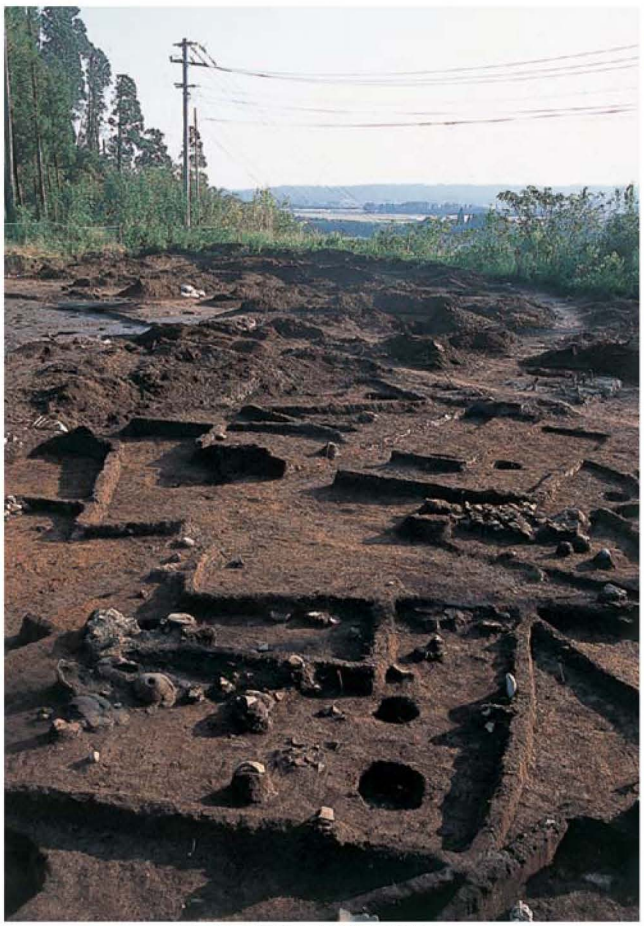
古墳時代の調査(1)A区南半

1　新田原台地を望む竪穴住居跡群(B1区)

2　スギ林下に眠る古墳時代～古代竪穴住居跡群(B2区)

## 古墳時代の調査(2)B1区・B2区

図版　10



1　竪穴住居跡(S4446)全景(北から)

3　竪穴住居跡(S713)全景(東から)

2　S4446遺物出土状況

4　S713全景(南から)

6　竈を持つ竪穴住居跡群(S570・S739)(東から)

5　S713遺物出土状況

古墳時代の調査(3)A区南半

1　竪穴住居跡群(S4312周辺)完掘(A区南半・東から)

2　竪穴住居跡群(S651周辺)完掘(A区南半・東から)

3　竪穴住居跡群(S990・S4070周辺)完掘(A区南半・東から)

4　竪穴住居跡群(S785周辺)完掘(A区南半・東から)

5　調査中の竈付竪穴住居跡(S1114・S1115)(B2区・東から)

6　M1000から出土した土器（B2区）

7　土坑(S2209)遺物出土状況(B2区)

8　土坑(S2121)遺物出土状況(B2区)

古墳時代の調査(4)A区南半・B2区

1　竪穴住居跡(S2577)全景(南から)

2　S2577の竈(S2578)

3　S2577遺物出土状況

4　S2577炭化材・焼土検出状況①

5　S2577炭化材・焼土検出状況②

古墳時代の調査(5)B1区

1　竪穴住居跡(S6330)全景(南から)

2　S6330遺物出土状況

3　竪穴住居跡(S2307)の土器埋設炉(S2804)

4　S6330精査状況

5　土器埋設炉(S2044)

古墳時代の調査(6)B1区

図版　14

1　竪穴住居跡(S1115)竈検出状況(B2区)

2　S1115の竈、調査状況(B2区)

3　S1115の竈、完掘(B2区)

4　竪穴住居跡(S1097)の竈(B2区)

5　竈焚き口部に埋め込まれた甕(S2005)(B1区)

6　竪穴住居跡(S5651)の竈(S5010)(B1区)

7　竈(S2068)遺物出土状況(B1区)

8　竈(S2030)遺物出土状況(B1区)

古墳時代の調査(7)B1区・B2区

1　竪穴住居跡(S2426)全景(東から)

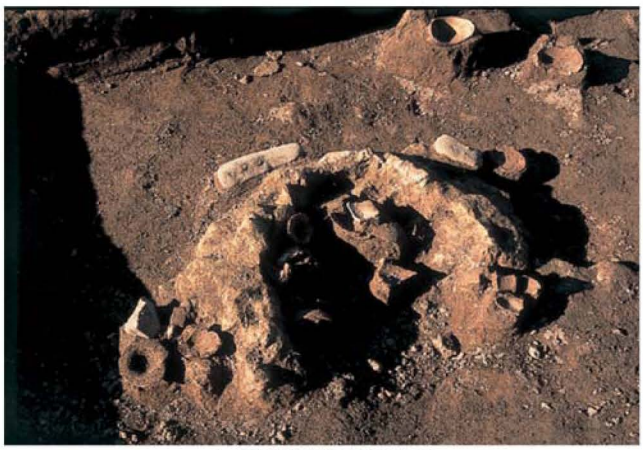
2　甕と土製支脚との関係(S2425)

3　S2426の竈(S2425)

4　S2425の正面観

古墳時代の調査(8)B1区

図版　16



1　高坏の散乱する竈(S1775)

2　竈(S2771)の土師器甕

3　竪穴住居跡(S2739)全景

4　S2739の竈(S2740)

5　竪穴住居跡(S2821)の竈(S2822)

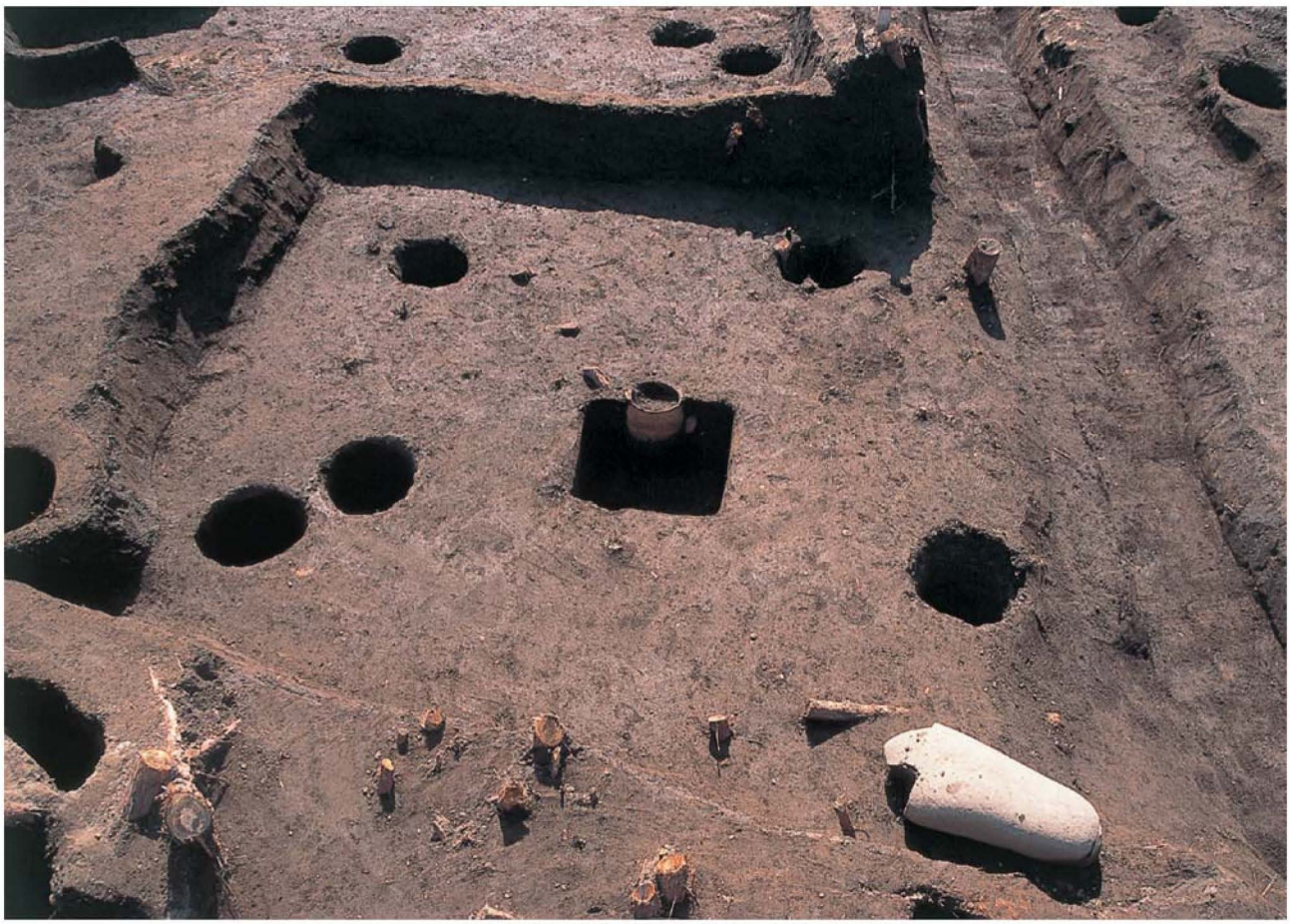
6　竪穴住居跡(S5658)の竈(S5011)

古墳時代の調査(9)B1区

1　調査区全面に広がる遺構群(A区北半・南から)

2　過密化を見せる竪穴住居跡群(B1区・南から)

## 古代の調査(1)A区北半・B1区



1　竪穴住居跡(S5007)全景(B1区・北から)

2　土器埋設炉(S5007)(B1区)

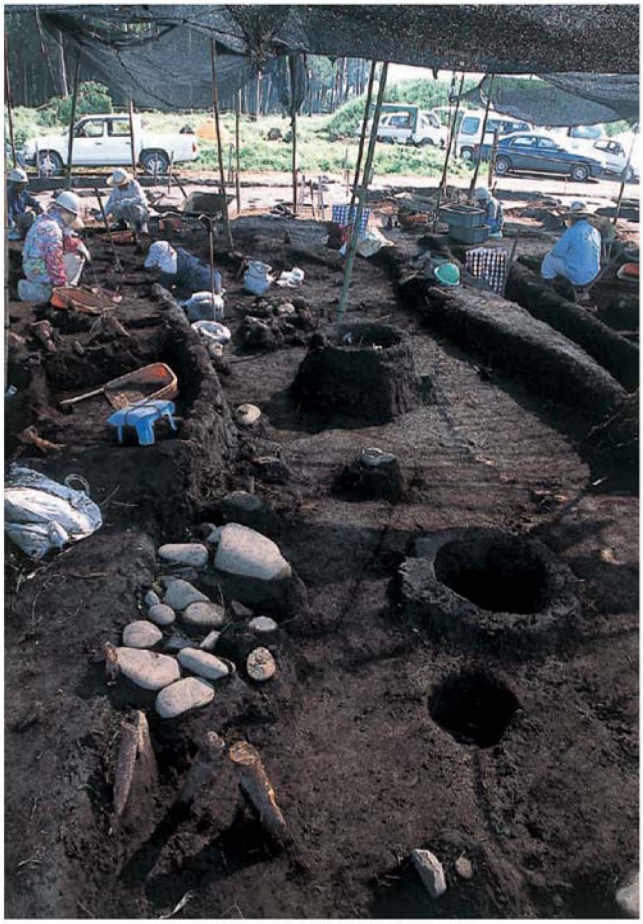
3　竪穴住居跡(S640)の土器埋設炉(A区南半)

4　竪穴住居跡(S462)の土器埋設炉(A区南半)

5　土器埋設炉(S2381)(B1区)

古代の調査(2)A区南半・B1区

1　竪穴住居跡(S2874)全景(北から)



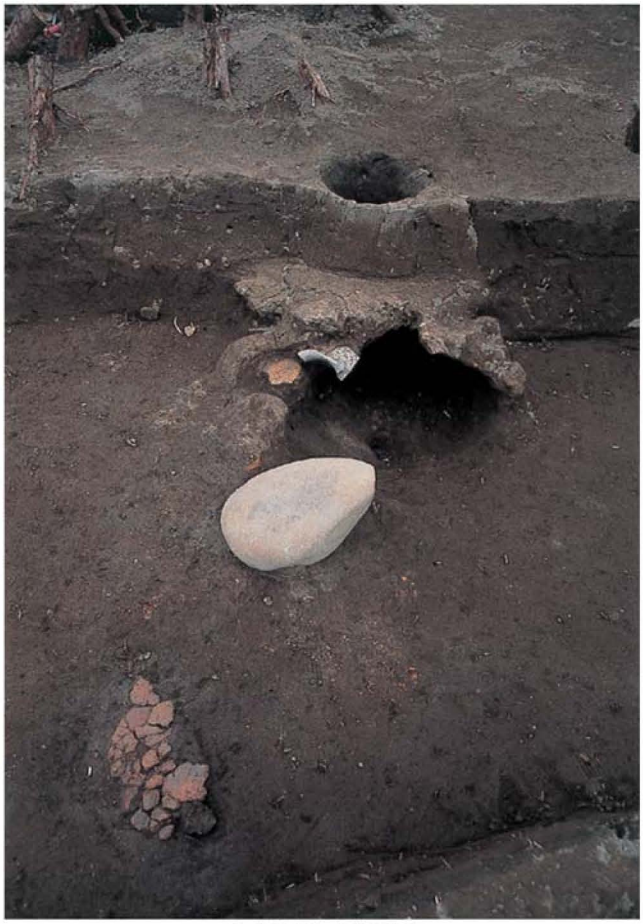
2　寒冷紗の下での発掘作業(2004年盛夏)

3　竪穴住居跡(S2874)の竈(S2873)と土器埋設炉(S5008)

## 古代の調査(3)B1区

1　竪穴住居跡(S2991・中央)とその周辺

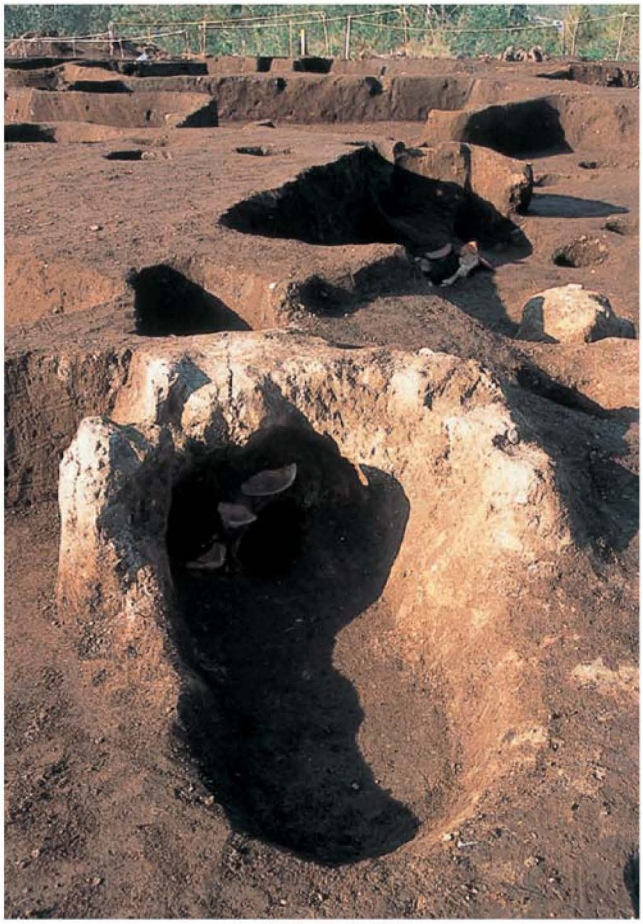
2　竪穴住居跡(S2993)の竈(S2992)



3　煙道を持つ竈(S2893)

古代の調査(4)B1区

1　２基の竈と１基の土器埋設炉を持つ竪穴住居跡(S5930)(南から)



2　S5930の竈(S5945)

3　S5930の竈(S5990)

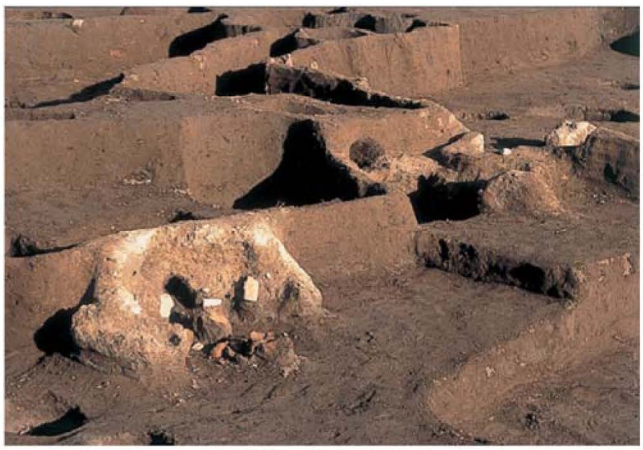
4　S5930の土器埋設炉(S5925)

古代の調査(5)B1区

1　竪穴住居跡(S5986)コーナー付近

2　S5986の竈(S5985)

3　竪穴住居跡(S6228)と周辺(南から)



4　竪穴住居跡(S5013)の竈(S5977)

5　S6228の土器埋設炉(S6282)

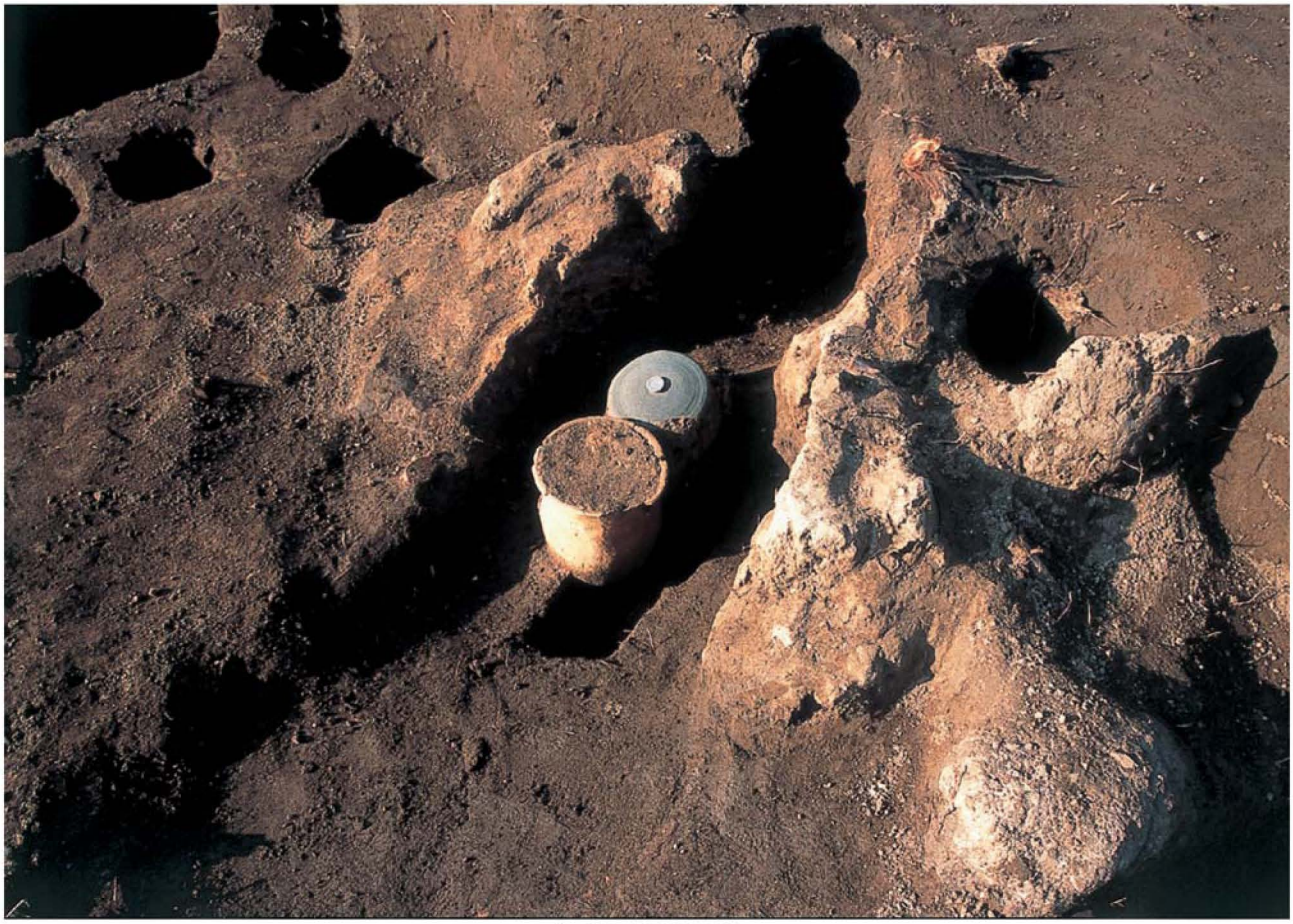
6　S5013の竈(S5977)

7　竪穴住居跡(S5998)全景(南から)

8　S5998の竈(S5999)

古代の調査(6)B1区

1　竪穴住居跡(S6001)とその周辺(南から)



2　S6001の竈(S6000)

## 古代の調査(7)B1区

1　竪穴住居跡(S6055)全景(南から)

2　S6056の竈(S6055)

3　竪穴住居跡(S6060)の竈(S6065)

4　竪穴住居跡(S6324)全景(南から)

5　S6324の竈(S6323)

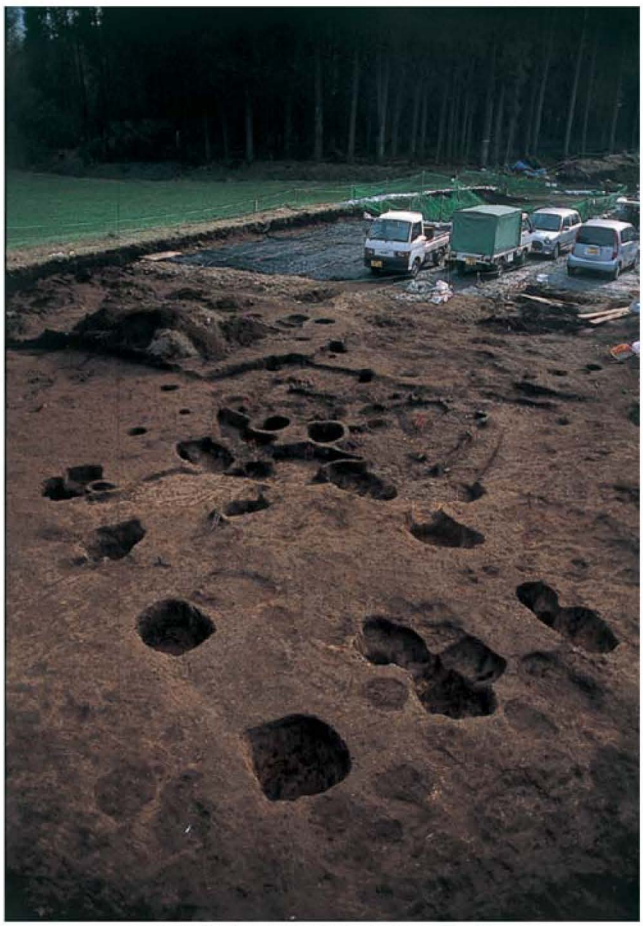
6　S6324の土器埋設炉(S6325)

7　S6324の土器埋設炉(S6325)

8　竪穴住居跡(S6328)の土器埋設炉(S6326)

古代の調査(8)B1区

1　掘立柱建物跡(SB87)完掘(A区南半・西から)



2　掘立柱建物跡(SB103)完掘(B1区・西から)

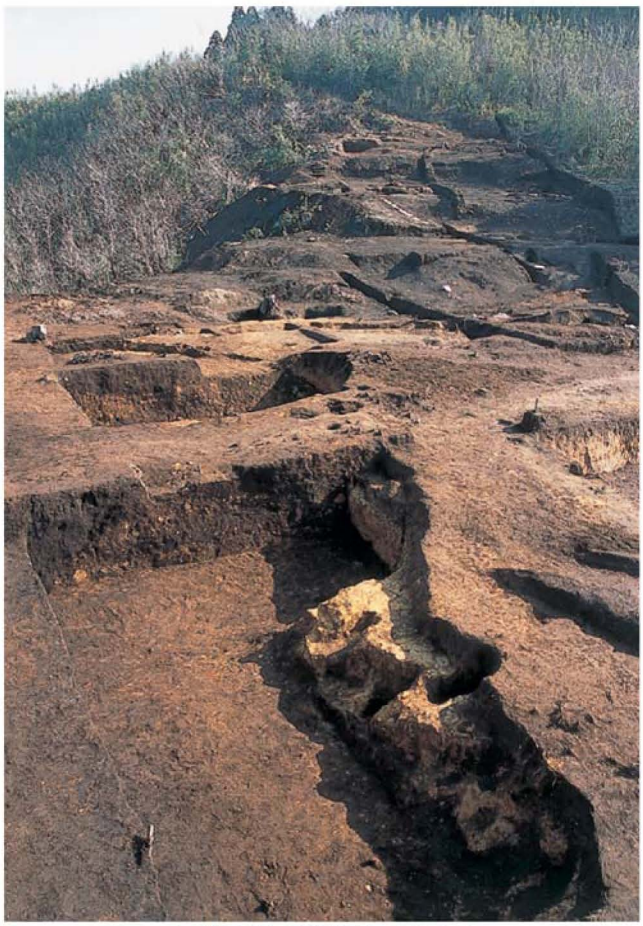
3　掘立柱建物跡(SB69)検出状況(A区南半)

4　掘立柱建物跡(SB103)の柱穴(S6515)(B1区)

5　掘立柱建物跡(SB119)の柱穴(S5378)(B1区)

6　掘立柱建物跡(SB125)柱穴(S5344)(B1区)

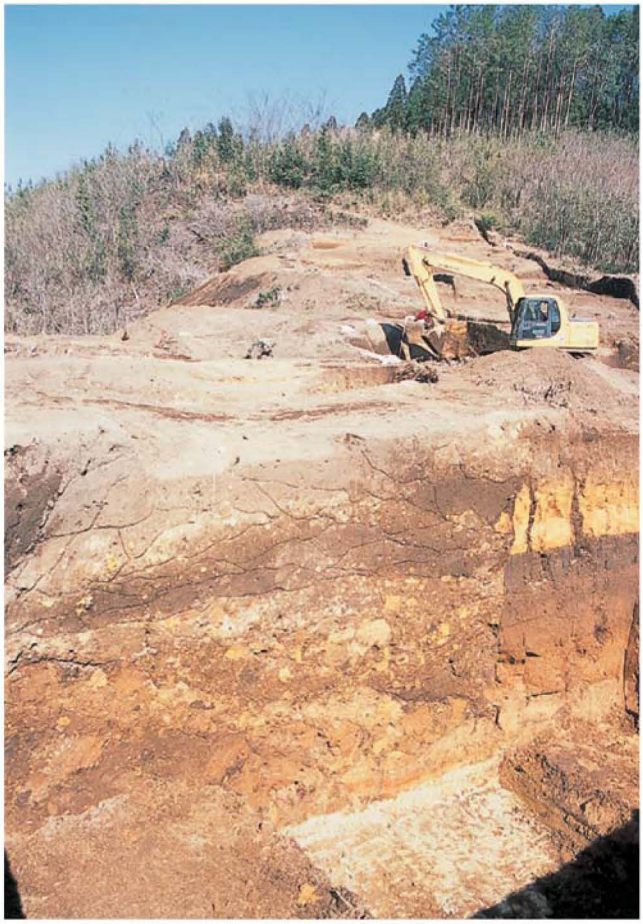
古代の調査(9)A区南半・B1区



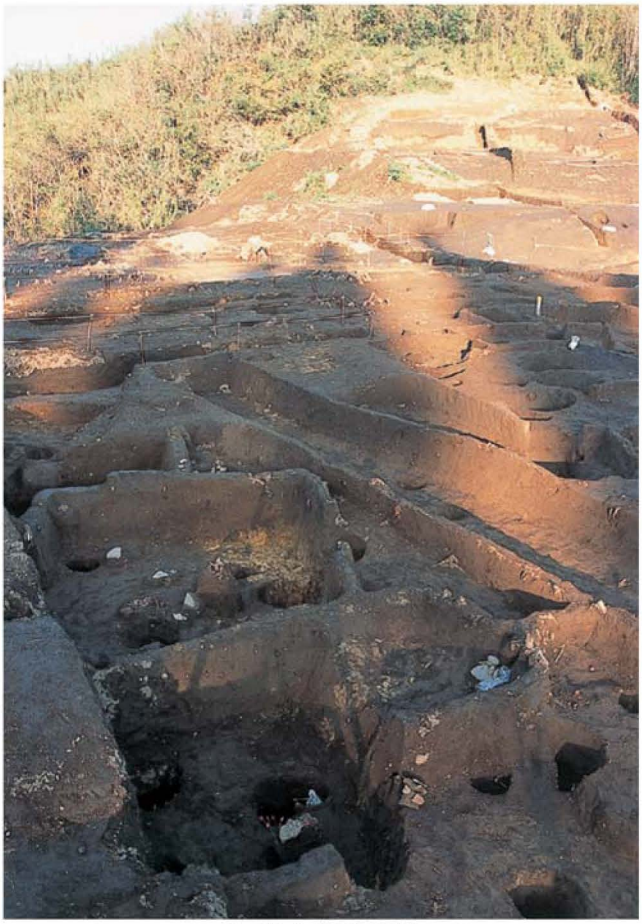
1　地崩れ跡とその復旧であったと気付く

2　引き裂かれ横転した地山(E～Fライン)

3　E～Fラインの土層(北から)

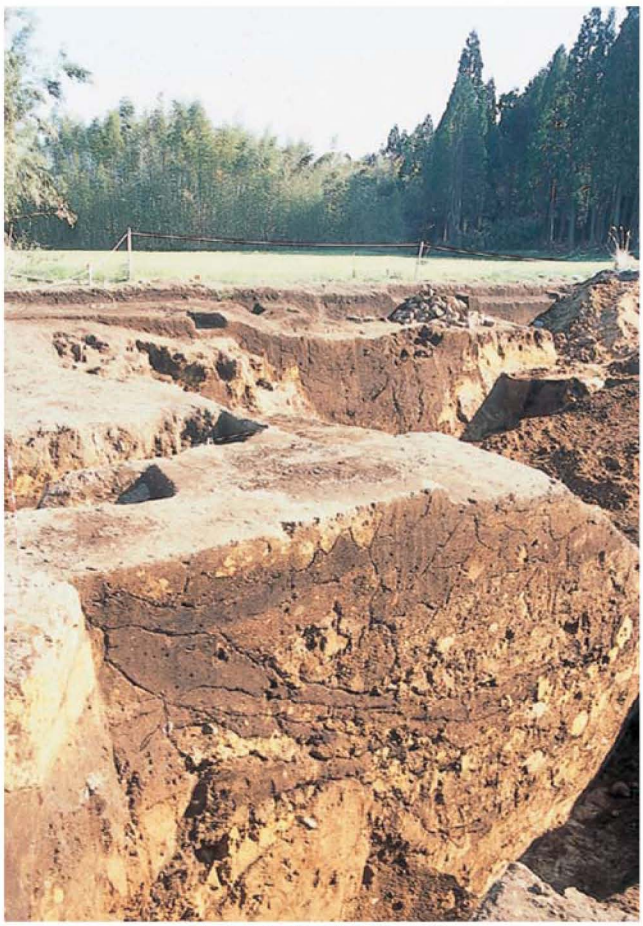


4　垂直に引き裂かれた地崩れ面の壁(G～Hライン・南から)



5　影さす“誤認”遺構群

古代の調査(10)B1区



1　C～Dラインの復旧作業(B1区)

2　底の見えないC～Dライン(B1区)

3　G～Hライン7m北の土層(B1区・北から)

4　A～Bライン川原石集積(B1区)

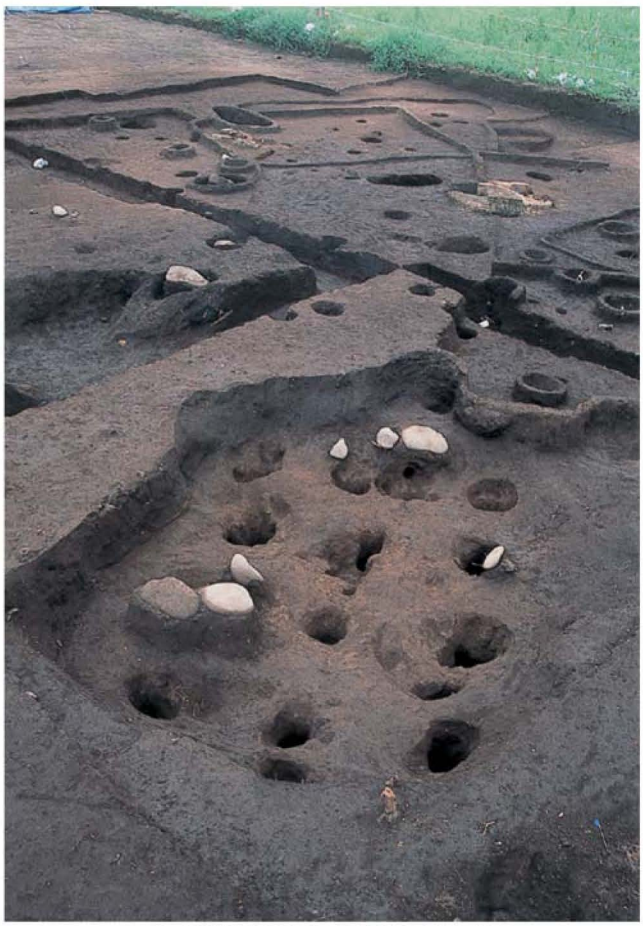
5　G～Hライン5m北の土層(B1区・南から)

6　C～Dラインの底をめざす(B1区)

古代の調査(11)B1区

1　A～Bライン掘削中(B1区)

2　A～Bラインの復旧作業(B1区)



3　竪穴状遺構(S2028)全景(B1区・南東から)

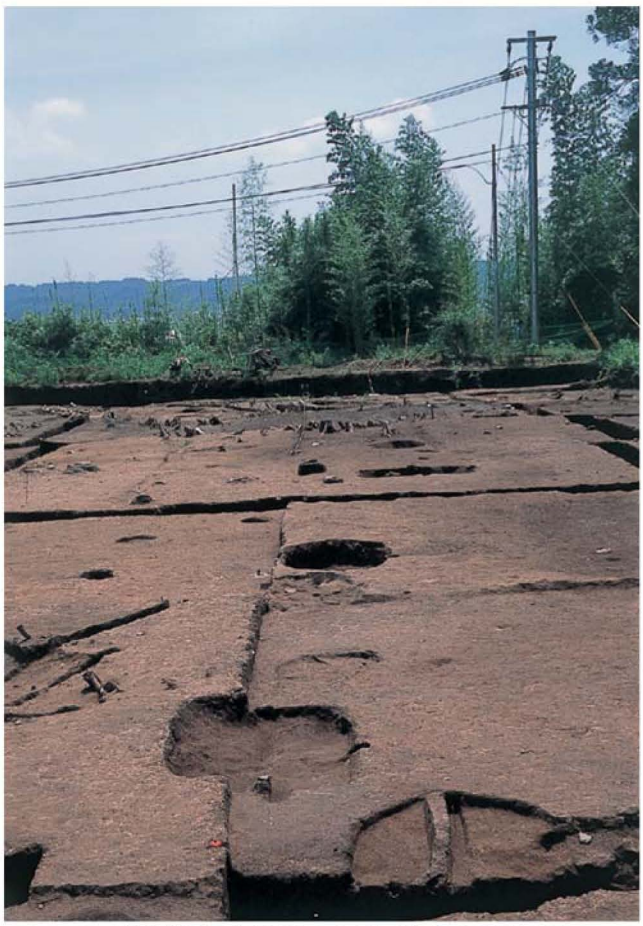
4　竪穴状遺構(S5904)と屋内土坑(S2742)

5　竪穴状遺構(S2596)に伴う地床炉全景(B1区・南から)

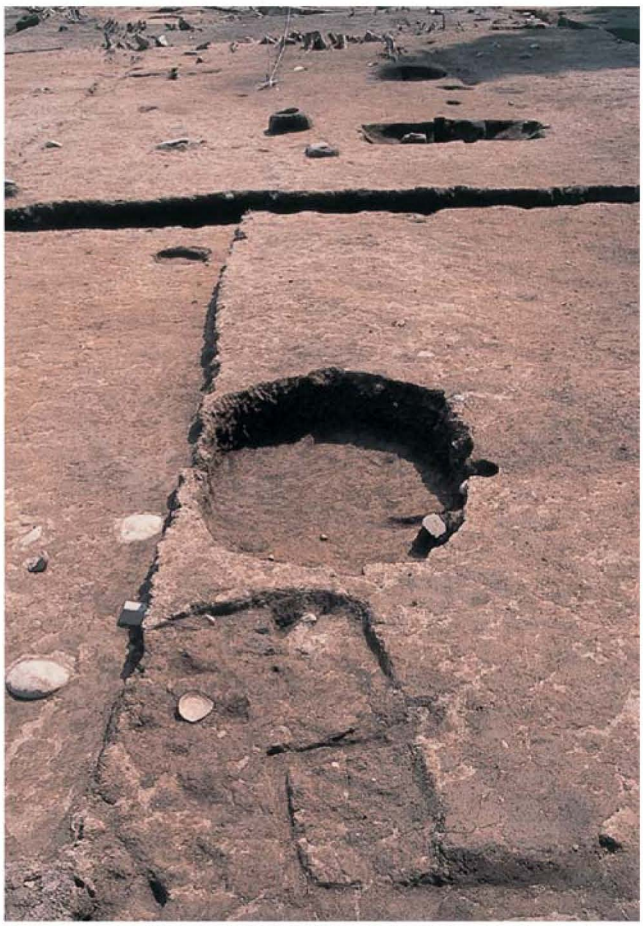
6　土壙墓(S2427)全景(B1区・東から)

7　土壙墓群(画面左よりS2868・2867・2866：B1区・北から)

古代の調査(12)・中世の調査(1)B1区



1　土壙墓群(画面手前よりS350・S330・S337・S336)(北から)



2　隣接する土壙墓(画面手前からS337・S336)(北から)

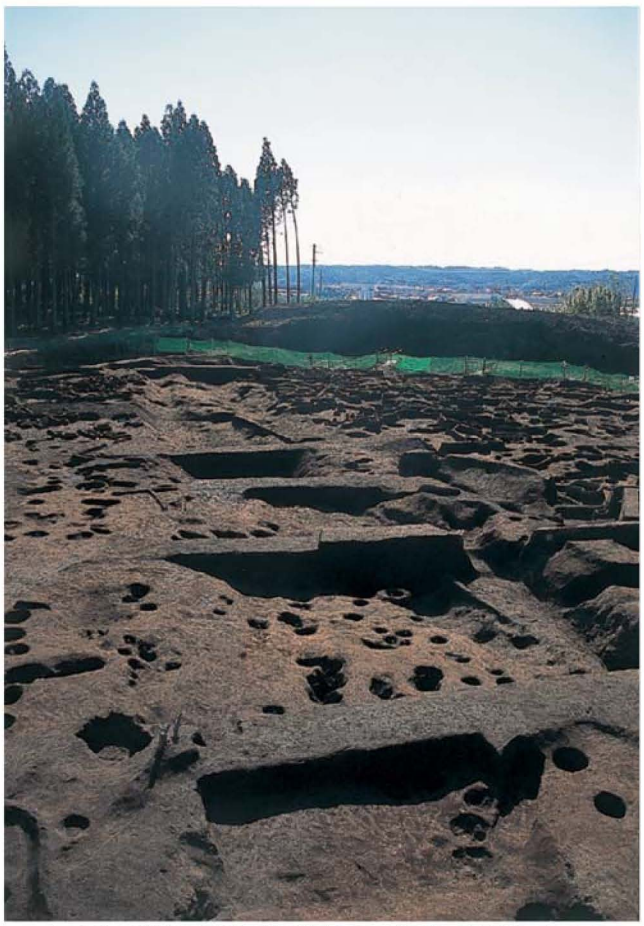
3　S337遺物出土状況

4　土壙墓(S581)遺物出土状況

5　S581から出土した土器

6　F9グリッドⅠ層から出土した銅鏡

中世の調査(2)A区南半



1　南北を縦断する溝状遺構群等①(S4991・S4938等：A区北半・北から)

3　屋敷境となる石組列(S4861)(A区北半)

2　南北を縦断する溝状遺構群等②(S4991・S4938等：A区北半・南から)

4　S4991で検出された礫(A区北半)

5　素掘小溝検出状況(S70)(A区南半・南から)

6　S70完掘(A区南半・南から)

近世の調査　A区

1　旧住吉神社のかつての社殿を偲ぶ

2　里道を登ると見えてくる旧住吉神社石垣

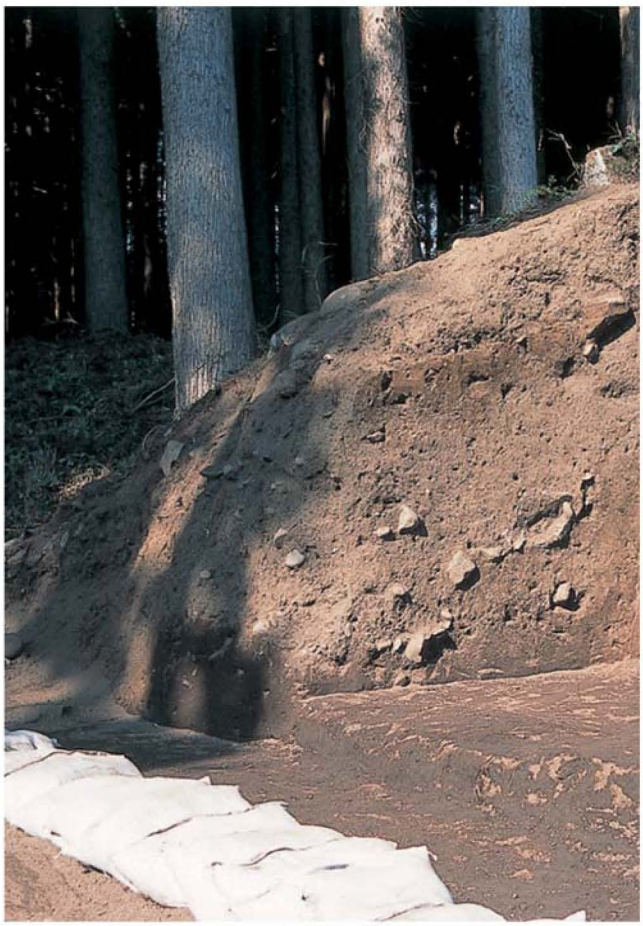
3　里道を登る人の目線

4　石段西側石垣

5　石段断面

近現代の調査(1)B2区

1　石垣を取り除くと見えてきた石垣基礎(S1311)



2　石垣裏込断面(S1021)

3　梅花状に組まれた鳥居基礎(S1170)

4　作業員対象の現地説明会のようす

5　迫道の崖に組まれた石垣

6　バックホーによる石垣除去作業

近現代の調査(2)B2区

1　防空壕(S2138)近景(B1区・南から)

2　S2138近景(B1区)

3　残深最大約1.5mを測るS2138土層堆積状況(B1区)

4　S2138内部の状況(B1区)

5　S2138の収容能力(B1区)

6　移転直前まで使われた井戸(A区北半)

近現代の調査(3)A区北半・B1区

1　S3101完掘(南から)

2　段切り状遺構(S3101)表土除去

3　段切り面１遺構検出状況

4　段切り面１完掘(南から)

5　石組遺構(S3175)礫検出

段切り面の調査(1)B1区北半

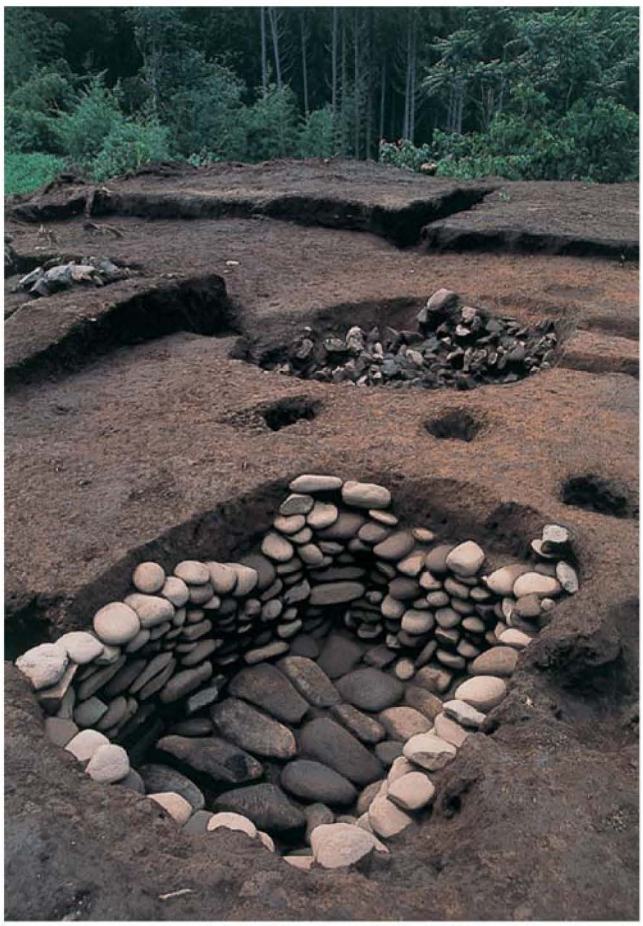
1　石組遺構(S3175)全景(南から)

2　S3175南西隅

3　S3175東壁

4　S3175北西隅

段切り面の調査(2)B1区北半



1　石組遺構（S3175)と茶毘遺構（S3188)

2　S3188礫集中部の検出状況

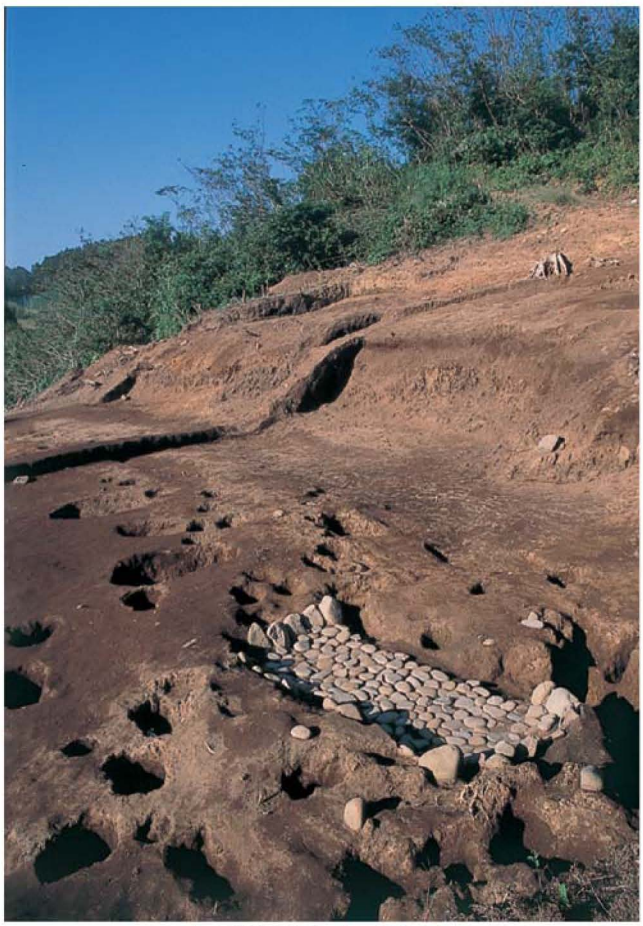
3　S3188礫集中部の半截状況

4　S3189礫集中部の半截状況

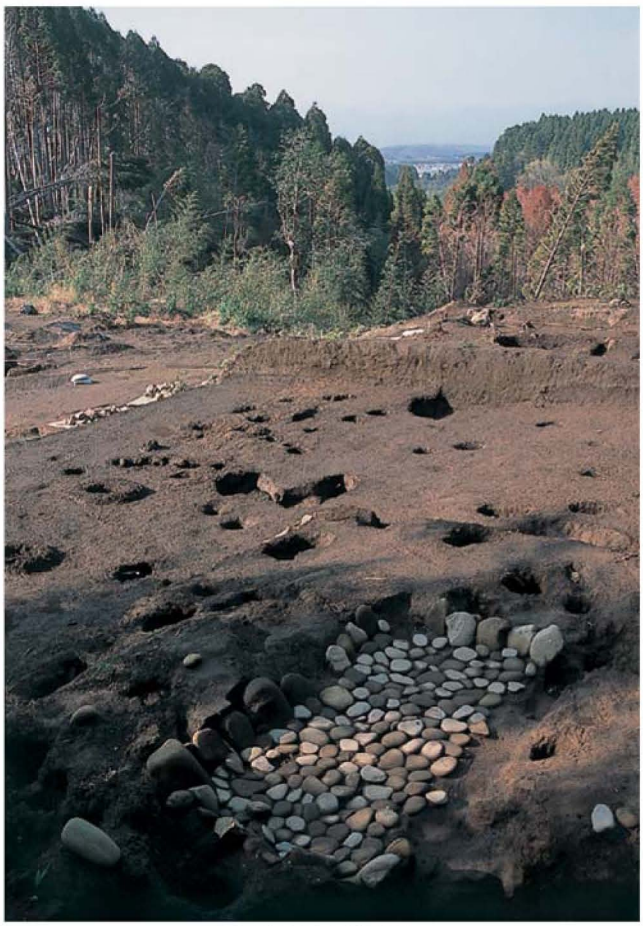
5　S3188・S3189全景(北東から)

6　S3188礫集中部の炭化材検出状況

段切り面の調査(3)B1区北半



1　石敷遺構(S3110)全景(北西から)



2　S3110から西方を望む

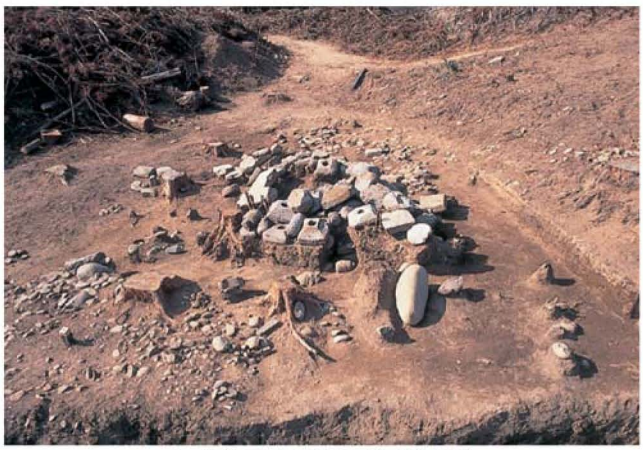
3　S3110検出状況

4　S3110土層堆積状況(3層)

5　S3110敷石と遺構掘り方の関係

6　S3110壁面の立石状況

段切り面の調査(4)B1区北半



1　段切り面２石塔群ならびに礫(南から)

2　石塔群周辺①

3　石塔群周辺②

4　集石墓(S3222)

5　段切り面３から南方向を望む

段切り面の調査(5)B1区北半

溝状遺構・道路状遺構の調査(1)B1区北半

1　段切り面１よりB1区を望む

2　段切り面１下の近世墓

3　遺構検出状況(北東から)

4　発掘作業風景(2004年梅雨)

## 溝状遺構・道路状遺構の調査(2)B1区北半

1　中世の溝状遺構および道路状遺構群(南から)

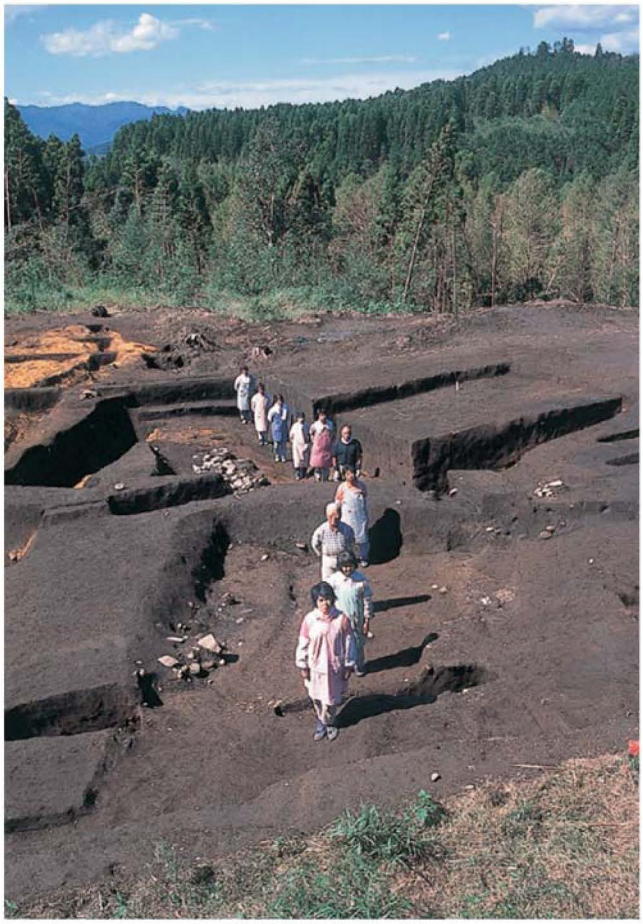
2　道路状遺構(S3227)の底面

3　溝状遺構(S3218)遺物出土状況(S3226)

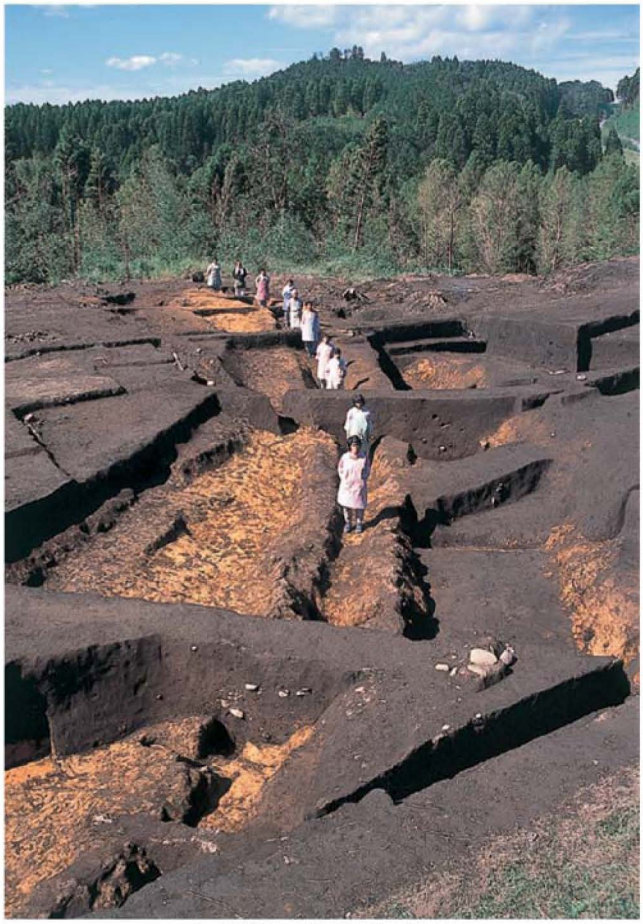
## 溝状遺構・道路状遺構の調査(3)B1区北半

1　溝状遺構(S3208)土層

2　溝状遺構(S3209)全景(西から)



3　S3208全景(B1区北半・東から)



4　S3209全景(B1区北半・東から)

中近世の溝状遺構群　B1区北半

C区遠景(祇園原方面を望む)

## C区の調査(1)

1　C区遠景(東から)

2　C区調査風景(2004年春)

3　C区尾根１の整地層断面(南北トレンチ)

4　C区尾根１遺物出土状況(東西トレンチ)

## C区の調査(2)

1　C区の立地する尾根部(有峯城を望む：東から)

2　土坑(S3001)埋土

3　土坑(S3002)埋土

4　土坑(S3004)土層堆積状況

5　土坑(S3008)完掘(南から)

## C区の調査(3)

1　S3005検出状況

2　土坑(S3000)完掘(西から)

3　集石(S3005)半截(北から)

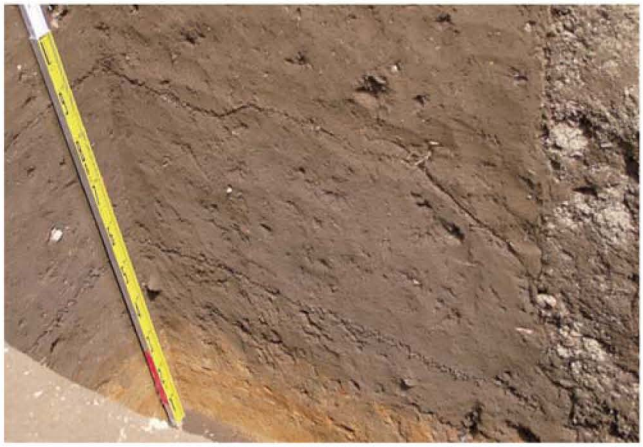
4　S3000土層堆積状況

5　C区尾根２の土層堆積

C区の調査(4)

1　厚く堆積する造成土(S3102)①(確認トレンチ・B1区)

2　遺構検出状況(確認トレンチ・A区)



3　厚く堆積する遺構埋土①(確認トレンチ・A区)

4　本調査表土掘削前の表面採集

5　調査区西すぐ隣の宅地跡カット面の土層堆積状況

## 確認調査

1　層位横転断面(F5グリッド付近：A区南半・南から)

2　一ツ瀬川の氾濫(平成16(2004)年9月7日)

3　排土捨場の架橋(平成16(2004)年12月21日)

4　冬の調査風景(平成17年1月18日)

5　発掘作業員考案の発掘用具

6　ホンゲジ

7　ホンゲジに残る墓標①

8　ホンゲジに残る墓標②

## 調査区周辺の状況

1　防火水槽

2　左がオリヤ、右が風呂場・便所

3　養蚕室

4　クワ畑、奥の木立は台地端をめぐる防風林

5　左より養蚕室・ウマヤ、手前はクワ、奥の木立は住吉神社

6　クワ畑からオリヤ・ウマヤ、手前に物干し場

## 昭和40年代の岡富村

7　C区から南を望む(平成19(2007)年4月29日)

8　C区から藤山第１遺跡を望む(平成19(2007)年4月29日)

1　チャート・日東産黒曜石

2　(参考資料)日東産黒曜石

3　(参考資料)チャート

旧石器(1)

1　流紋岩①

2　(参考資料)流紋岩②

3　頁岩・ホルンフェルス類①

4　頁岩・ホルンフェルス類②

5　頁岩・ホルンフェルス類③

6　頁岩・ホルンフェルス類④

7　頁岩・ホルンフェルス類⑤

8　頁岩・ホルンフェルス類⑥

旧石器(2)

1　頁岩・ホルンフェルス類⑦

2　頁岩・ホルンフェルス類⑧

3　頁岩・ホルンフェルス類⑨、尾鈴山酸性岩類

4　砂岩

旧石器(3)